

平成20年度第1回愛知県周産期医療協議会

議 事 要 約

日時：平成20年6月6日（金） 午後3時から午後5時

場所：名古屋第一赤十字病院 会議室1・2

委員

出席者：石川委員、石田委員、一木委員、岩本委員（代理）、岡田（純）委員、岡田（節）委員、可世木委員、木村委員、倉内委員、小山委員、榊原委員、柴田委員、志水委員、鈴木（千）委員、高橋委員、早川（博）委員、二村委員、柵木委員、松澤委員、森川委員、山崎（俊）委員、山田委員、吉田委員

欠席者：鈴木（悟）委員、寺澤委員、山崎（嘉）委員

事務局

出席者：愛知県健康福祉部児童家庭課課長（母子保健グループ）、愛知県健康福祉部児童家庭課主幹（母子保健グループ）、名古屋市子ども青少年局子育て家庭部子育て支援課長、名古屋第一赤十字病院第四小児科部長、コロニー中央病院産婦人科医長

欠席者：なし

オブザーバー

出席者：中島先生、山本先生、小口先生、冢田先生、河井先生、長井先生、福田先生、松原先生、早川（昌）先生、篠原先生、加藤先生、大野先生、多田先生、佐橋先生

欠席者：田中先生、鈴森先生

司会者：名古屋第一赤十字病院第四小児科部長

議長：石川会長

1 吉田技監あいさつ

2 新任委員・事務局紹介あいさつ

今年度より、地域周産期母子医療センターと四大学からは小児科・産科双方より委員とオブザーバーという形式で参加いただきます。オブザーバーにも委員同様の旅費を支給し、議論にも参加していただきます。

3 会長・副会長の選出

会長：石川委員 副会長：山崎（俊）委員

4 議事

（1）平成20年度愛知県周産期医療情報システムについて

「愛知県周産期医療情報システム」の一般向けページ掲載予定の搬送基準について

- * 母体の搬送基準の詳細は資料 1 - 2、新生児の搬送基準の詳細は資料 1 - 3を参照ください。
- * 母体搬送基準では、疾患別に各医療機関ごとに医療機関としての対応能力の可否を示した一覧表を作成し、一般向けのホームページ上で公開したいがいかがか。
- * 一般向けに施設ごとの詳細な対応能力を開示すると搬送をお断りした際に、クレームにつながるものが危惧される。
- * 対応能力があることと、その時に対応ができるかは別の問題である。疾患によっては愛知県内で対応が出

来ず、他県へ搬送する必要がある場合もある。詳細を公開することで県民への啓発と理解を求めるとともに、母体搬送時の受け入れ先を選定する際の共有の指標ができることと有益ではないか。

- * あくまでも対応能力についてであり、受入可能かどうかについては時々刻々と状況が変化することを但し書きしてあればよいのではないか。
- * 母体搬送基準については、後日各医療機関に一覧表を送付するので、回答および母体搬送基準の内容に関する意見を記載後、返送してください。

(2) 平成20年度研修会の事業計画について

- * 総合周産期母子医療センター及び11地域周産期母子医療センターにて年間6回以上実施する。1回につき18万円の予算の枠内で、各々の地域医療圏を対象に各施設にて企画する。
- * 平成20年度担当施設は名古屋医療圏・尾張中部医療圏は名古屋市西部医療センター城北病院、名古屋第二赤十字病院、海部医療圏は海南病院、尾張西部医療圏は一宮市立市民病院、西三河北部医療圏はトヨタ記念病院、東三河北部・南部医療圏は豊橋市民病院。
- * 研修会で、新生児心肺蘇生法講習会を行うことも可能。
- * 予算が許すかぎり、今年度の順番病院以外でも希望する病院には補助いたしますので、ご希望の場合は早めに事務局までご連絡ください。

今後の開催予定

- * 安城更生病院（西三河南部医療圏）主催で平成20年6月7日（土）に新生児心肺蘇生法講習会を開催予定。講習終了時の試験合格者には日本周産期・新生児医学会から「修了認定証」が発行されます。
- * 愛知県心身障害者コロニー中央病院（尾張医療圏）、トヨタ記念病院（西三河北部医療圏）主催で平成20年度に研修会を予定。

新生児心肺蘇生法インストラクターコース参加の交通費補助

- * 昨年度までは、新生児心肺蘇生法インストラクターコース参加の交通費補助は対象を医師のみとしたが、今年度より看護師・助産師を含めた医療従事者へ対象を拡大し、内規も資料2-1のように改訂する。
- * 学会主催の講習会はインストラクター養成を目的としている為、県内で行う講習会のインストラクターとして活動いただける前提で、交通費補助もお申込みください。
- * 今後、県内の講習会の拡充の為、インストラクターの有資格者の名簿を作成します。各施設にて名簿を作成の上、7月末までに事務局までFAXでご連絡下さい。
- * 新生児心肺蘇生法については、総合周産期母子医療センターが学会の認定の申請やインストラクターの招集等の相談にも乗りますので、希望施設はご連絡ください。
- * 愛知県医師会の救急委員会や愛知県産婦人科医会でも新生児心肺蘇生法の普及に努めたいと考えている。
- * インストラクターコースを終了すると、新生児心肺蘇生法講習会のAコース・Bコースを開催することができるので、県内での講習会の普及の為、是非インストラクターの資格をとりましょう。

(3) 平成20年度愛知県周産期医療調査・研究事業の事業計画について

【フリースタイル出産をした産婦の分娩第 期・第 期における体験の様相】

愛知県立看護大学

高橋 弘子

- * フリースタイル出産は妊婦にとって満足度が高いといわれているが、日本の取り組みはごく最近のことであり、実際にフリースタイル出産をした産婦への面接調査から体験の様相を調査するとともに、出産経験

者を対象に認識調査を実施する。

- * 詳細については資料 3 - 1 を参照ください。

【NICU 退院児における広汎性心身障害者の早期診断プログラムの開発】

コロニー中央病院

山田 恭聖

- * 詳細については資料 3 - 2 を参照ください。
- * NICU 退院児に PDD を疑われる児が多いという印象があるため、NICU 退院児の PDD 発生頻度、早期兆候を調査し、早期介入を可能にするため、発生危険兆候をスクリーニングできるシステムの確立を目指す。

【NICU の利用率向上に関する検討】

名古屋第二赤十字病院

倉内 修

- * 愛知県内の産婦人科に対してアンケート調査を行い、予定帝王切開に関する実態調査を行う。
- * 37 週以降に予定帝王切開を行った場合、帝王切開症候群を発症して NICU に入院する児もいる。アメリカでは予定帝王切開を 39 週以降が望ましいとしているが、37 週・38 週で帝王切開をしてもいいのか。
- * 小児科としては 38・39 週以降の帝王切開にしてほしいが、帝王切開前に陣発して、緊急帝王切開になるリスクを考えると早めの帝王切開になりがちである。
- * アンケート内容をより回答しやすいものにし、一部質問を加えたほうがいいのか。
- * アンケートの内容を検討後、再度事務局に提出。

【愛知県における胚移植妊娠の実態調査：二次調査】

愛知県産婦人科医会

可世木 成明

- * 平成 19 年度同調査・研究事業を平成 20 年度も引き続き行う。現在、ART 協力施設 18 施設中、登録数が 1,503 例あり、今年度は順次周産期経過を調査する。

(4) 平成 20 年度特別講演・調査研究報告会の事業計画について

- * 平成 20 年 11 月 8 日もしくは 15 日に開催予定。
- * 特別講演会は講師・演目は調整中、調査研究報告会は平成 19 年度調査・研究事業の 3 つの演題の報告を予定。

(5) 平成 19 年度愛知県周産期医療調査・研究事業の報告について

【愛知県下の脳血管障害合併母体救急の実態調査】

名古屋第一赤十字病院

石川 薫

- * 4 月日本産婦人科学会シンポジウムで発表し、7 月の日本妊娠高血圧学会ワークショップでも発表予定です。
- * 詳細は資料 4 - 1 をご覧ください。
- * 脳血管障害合併妊婦に対する搬送受入可否情報が、産婦人科単科医療施設に周知徹底されておらず、リアルタイムな情報の共有が必要である。産婦人科単科施設と脳神経外科対応可能な高次医療施設とのネットワークの形成も急務である。
- * 愛知県下の分娩取扱い施設で未だ愛知県周産期医療情報システムのイントラネットに入るパスワードを習得していない施設があるので、全施設が是非ネットワークに接続できるよう愛知県産婦人科医会とも協力して、努めたい。

【低出生体重児における小児期の体格変化と生活習慣に関する調査】

【愛知県における胚移植妊娠の実態調査：二次調査】

愛知県医師会

可世木 成明

(6) その他

総合周産期母子医療センター平成19年度総括について

- * 詳細は資料 5 - 1をご参照ください。
- * 7月5日に総合周産期母子医療センター開設10周年記念講演会を開催します。ぜひ、ご出席ください。
- * 12月から1月にかけて、名古屋第一赤十字病院は新棟への引越し及び電子カルテの切り替えを行う為、12月・1月の母体搬送については、他のセンター病院の皆様にご協力をお願い致します。

助産所の嘱託医及び嘱託医療機関の確保状況の報告

- * 無事愛知県内の助産所全てに連携医療機関が決定しました。ご協力ありがとうございました。

(7) 報告事項

半田市立半田病院からの報告について

- * 昨年、産科医の産休などにより医師が不足し、母体搬送の受入れを制限していた。今年度は、昨年より医師は増えたが、経験が浅いため従前の体制ではない。出産だけでなく婦人科にも対応しなければならないので、しばらくは昨年と同様受入れ制限を行わなければならない状況である。ご理解いただきたい。

以下非公開

< 次回医療協議会開催について >

* 平成20年度第2回周産期医療協議会を、平成20年10月17日(金)「名古屋第一赤十字病院 会議室1・2」にて開催します。